

■未普及対策

○整備方針

- ・未普及地域解消のため、污水管渠、ポンプ及び処理場施設の整備を推進する。
- ・将来の土地利用や人口、財政収支の状況を勘定した総合的な見地から全体計画区域を見直し、持続的な污水处理システムの構築を推進する。

○指標及び目標値

1. 下水道処理人口普及率の向上

都道府県構想の中期目標（R14）である87.3%の達成に向け、下水道整備を推進する。

表1-1 下水道処理人口普及率

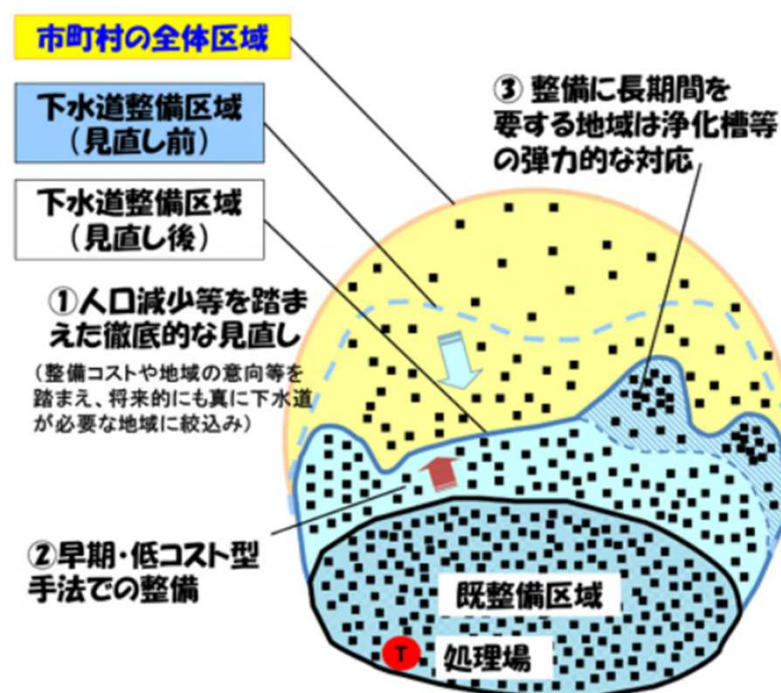
当初現況値 (R6末)	中間目標値 (R10末)	最終目標値 (R12末)
86%	86%	87%

表1-2 長野県生活排水処理構想（2022改定版）より

整備事業		現状	短期	中期	長期
		R3 (2021)	R9 (2027)	R14 (2032)	R34 (2052)
下水道	整備人口（千人）	1,738.6	1,703.2	1,669.6	1,467.6
	整備人口割合 (%)	84.9	86.2	87.3	89.1

計画区域の見直しイメージ

※国土交通省HPより



■広域化・共同化

○整備方針

- ・下水道等の接続可能な事業運営に向け策定した都道府県構想（広域化・共同化計画）に基づき、汚水処理施設の統廃合を推進する。

統廃合のスキームは下記のとおり。

- ①農業集落排水等の公共下水道への統合
 - ②公共下水道の流域下水道への統合
 - ③公共下水道同士の統合
 - ④し尿等の下水道受入れ
- ・ウォーターPPPをはじめとしたPPP／PFI手法の導入を推進する。

○指標及び目標値

2. 都道府県構想に位置付けた統廃合計画を推進する。

都道府県構想の中期目標（R14）達成に向け、下水道へ統合することで施設を廃止する。

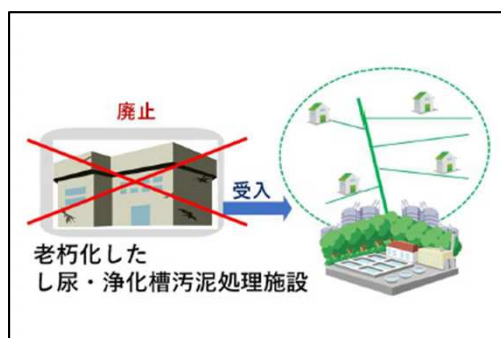
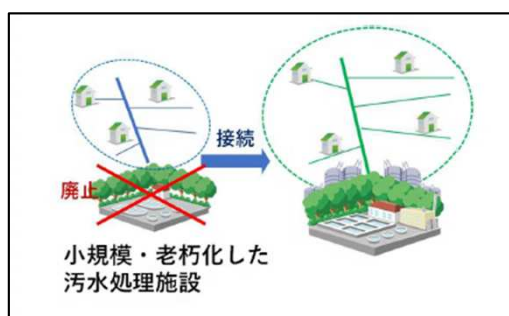
計画期間内に廃止する施設数：20施設

表2 統廃合完了率

当初現況値 (R8当初)	中間目標値 (R10末)	最終目標値 (R12末)
0 %	55%	100%

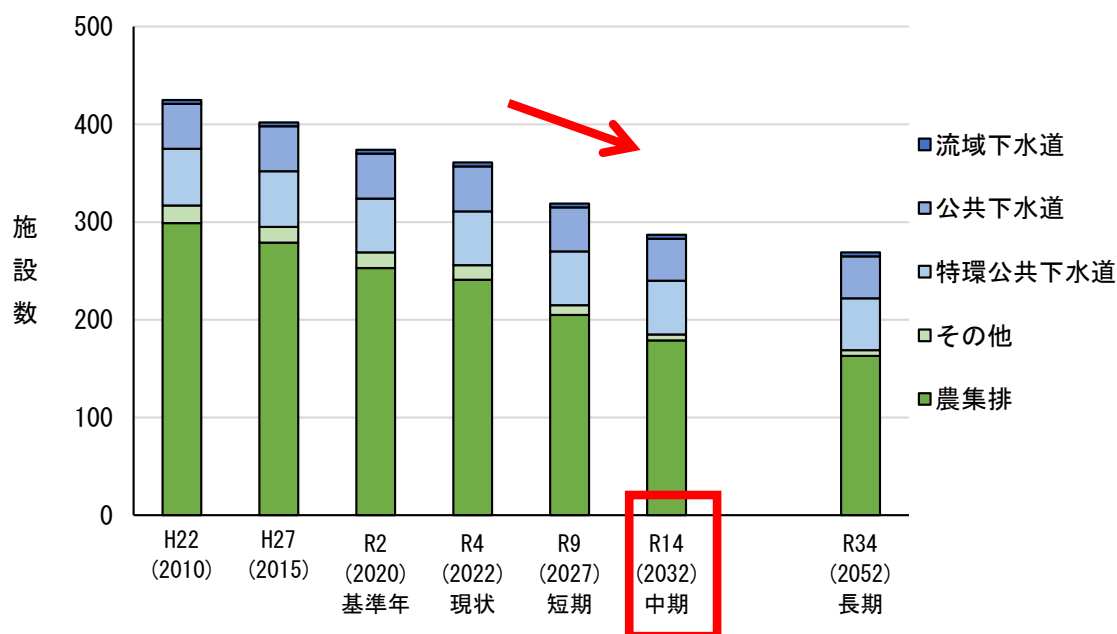
統廃合のイメージ

※「広域化・共同化計画実施マニュアル」より



集合処理施設数の推移と計画

※長野県生活排水処理構想（2022改定版）より



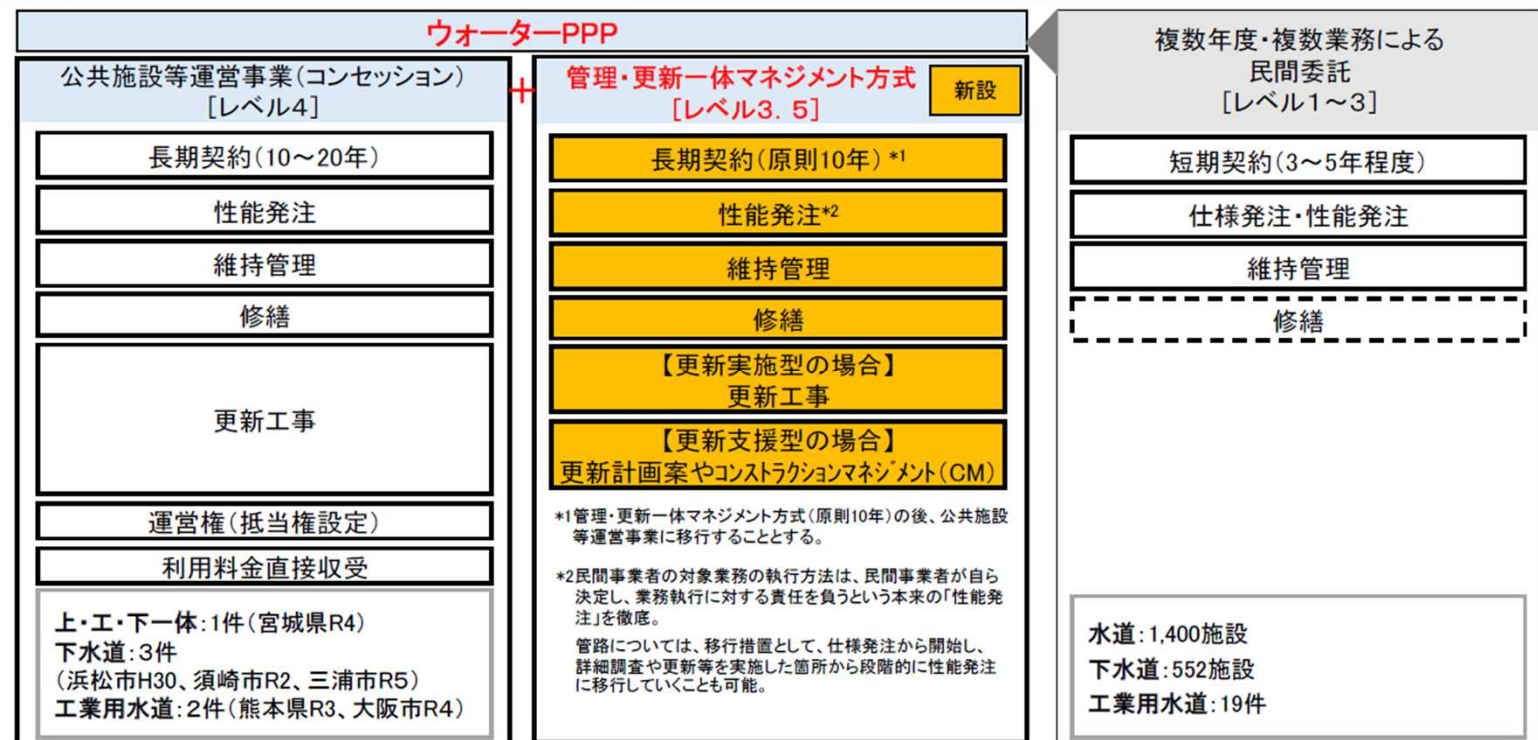
3. 下水道事業の広域化・効率化や下水道資源の有効利用に向けたPPP/PFI手法（ウォーターPPP含む）の導入を推進する。

表3 検討着手・導入済率

当初現況値 (R8当初)	中間目標値 (R10末)	最終目標値 (R12末)
16%	41%	50%

ウォーターPPPの概要

- 水道、下水道、工業用水道等について、PPP/PFI推進アクションプラン期間の10年間(R4～R13)において、コンセッションに段階的に移行するための官民連携方式(管理・更新一体マネジメント方式)を公共施設等運営事業と併せて「ウォーターPPP」として導入拡大を図る。
[管理・更新一体マネジメント方式の要件]
- ①長期契約(原則10年)、②性能発注、③維持管理と更新の一体マネジメント、④プロフィットシェア
- 国による支援に際し、管路を含めることを前提としつつ、民間企業の参画意向等を踏まえ、対象施設を決定する。
- 水道、下水道、工業用水道に加え、農業・漁業集落排水施設も含めた分野横断型・広域型のウォーターPPPの形成を図る。なお、地方公共団体等のニーズに応じて、浄化槽、農業水利施設を含めることも可能である。
- 関係府省連携し、各分野における管理・更新一体マネジメント方式が円滑に運用されるよう、モデル事業形成支援を通じた詳細スキーム検討やガイドライン、ひな形策定等の環境整備を進める。



※内閣府HPより